

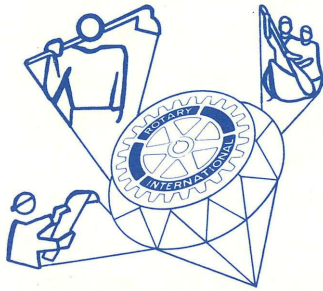


# THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



## Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

No. 145 1989年9月22日



国際ロータリー会長 ヒュー・M・アーチャー

1989-90年度国際ロータリーのテーマ

**ENJOY ROTARY!**  
**ロータリーを**  
**楽しもう!**

本日の予定 1989年9月22日 (第147回)

夜間例会 (レディース・デー) 18:00~20:00

『徳永兼一郎 チェロコンサート』

チェロ 徳永兼一郎氏 / N響首席チェロ奏者

ピアノ 林 裕子氏

### 先週報告

1989年9月8日 第146回

卓話 『狂言を見て下さい』

広瀬 邦哉 氏 / 京成電鉄(株)専務取締役

司 会 : 佐藤 定宏 会長

♪ロータリーソング: 「我等の生業」

ソングリーダー: 山田 順則 君

ニコニコボックス紹介: 大日方 真 君

来客紹介: 吉田 用親 君

出席状況: 会員 51 名中 / 出席 35 名 / 欠席 16 名

来客 9 名 (都内 9 名) ゲスト 3 名

### ◎会長報告

(1) 久しぶりにホームクラブに出席された田辺賢三地区ガバナーを紹介し、ガバナーから挨拶がありました。

(2) 東京成城新RCの伊藤、横田両氏を紹介し、両氏から、東京成城新RC認証状伝達式への出席依頼がありました。

### ◎広報委員会報告

ロータリーの友事務所から1990年「ロータリーダイアリー」と「ロータリーカレンダー」の案内が来ています。

申込は事務局まで。

### ◎国際奉仕委員会報告

8月21日に地区の米山奨学委員会が開かれ、田辺ガバナー、沖、河原、田中の各委員が出席しました。

### ◎認証状伝達式ご案内

東京成城新ロータリークラブ

10月19日(木) ホテルセンチュリーハイアットで举行されます。登録料会員 20,000 円 家族 18,000 円です。

東京京浜ロータリークラブ

11月1日(水) 新高輪プリンスホテル「飛天の間」で举行されます。登録料会員 20,000 円 家族 16,000 円です。

### ◎慶事披露

お誕生日 9月18日 保 森 登 君

9月20日 飛 島 章 君

9月22日 田 辺 賢 三 君

### ニコニコボックス

(順不同・敬称略)

鶴岡 健吉(東京日本橋東RC) 9月4日田辺ガバナーの公式訪問を頂き、亦蟻川地区副幹事も随行頂き有難う御座居ました。

伊藤雅明・横田穰二(東京成城新RC) 本日は、お世話になります。よろしくお願ひ致します。

田辺 賢三・保森 登 誕生日のお祝ひ有難うございました。

山本 博一 広瀬さんよろしくお願ひします。

沖 宏之 田辺ガバナーと共にがんばっています。

武下 朗 沖さんの「したら」の声に乗りました。

田中 武 8月下旬イギリスで一年振りに一家4人再会することができました。

馬場 一廣 山田さんが体調をくずしておられました。早く元気になって下さい。

山田 順則 まだ日中暑いですね。

小西 暁也 久しく例会を欠席していました、やっと復調しました。

高須 康有 欠席が続きましたので

9月8日 12件 ¥55,000

それぞれ、多額のご寄附を頂き有難うございました。

### ◎ビジター (敬称略)

伊藤雅明・横田穰二 / 東京成城新RC、鶴岡健吉 / 日本橋東RC、反田邦彦 / 日本橋西RC、松田 力 / 世田谷南RC、後藤 實 / 東京銀座RC、長岡 實 / 東京新橋RC、柿田 潔 / 東京芝RC、恵谷 博 / 東京南RC

### ◎ゲスト

松原 秋夫氏 (二宮会員ゲスト)

寺田 昌樹氏 (丸山会員ゲスト)

1989年9月8日 卓話

『狂言を見て下さい』

広瀬邦哉氏/京成電鉄(株)専務取締役



私は30数年狂言の稽古を続けていますが、狂言というと、狂言作者とか顔見せ狂言、あるいは狂言強盗、狂言殺人というような言葉を思い浮かべる人が多くて、なかなか理解していただけません。これは、能と狂言の関係がわかりにくいからだと思います。

私は、能楽協会の会員ですから能楽師という肩書がつきます。しかし、能楽協会の中には、仕手方、脇方、囃子方、狂言方という小分類があり、私は狂言方に属していますので、狂言師でもあります。谷崎潤一郎の短篇に「月と狂言師」というのがありますが、あの狂言師です。

ここに能組と呼ばれる能の番組を持ってきましたが、この中で、安宅<sup>アツカ</sup>というの<sup>アツカ</sup>は能です。鉄輪<sup>テツリン</sup>というの<sup>テツリン</sup>も能です。この二つの能に狭まれて狂言佛師<sup>クワンボツシ</sup>というの<sup>クワンボツシ</sup>がありますが、これが狂言です。つまり、能組は、能、狂言、能という構成になっている。このことから、広義の能は狭義の能と狂言から成っていることがわかります。狭義の能には、鉢ノ木とか羽衣とか鞍馬天狗という曲があります。狂言では、私が子供の頃習ったものに末広がり、鞍猿、釣狐<sup>ツリキツネ</sup>などがありました。

この安宅という能は、弁慶、義経一行が頼朝に追われて平泉に逃げる途中、関所でつかまる話です。ここには、弁慶、義経とその部下の役者の名前が出ています。これが仕手方です。また、その相手をする関守<sup>セキモリ</sup>の富樫とその部下もいます。これが脇方です。また、能にはお囃子がつきます。お囃子には笛、太鼓、大鼓、小鼓<sup>コヅミ</sup>の4つの楽器を使います。

われわれが能や謡の先生といっている勤世、宝生・金剛といった流儀の人は、仕手方の役まわりだけを演じます。仕手方の相手をする脇方にも別に専門家がいて、これも高安流とか福岡流といった流儀があります。笛、太鼓、大鼓、小鼓にもそれぞれに流儀が何流かあって、それぞれの専門家として出ています。そして、狂言の役は狂言師が演じます。

こうして多くの専門家が集って能という1つの曲を構成します。これはいふならば、音楽の世界のオーケストラのようなものです。この能組は金剛流の能の先生がプロデューサーをつとめており、プロデューサーが、どのパートに何流の誰を呼ぶかを決めます。この能組では狂言方には、大蔵流の狂言師が選ばれました。

このように狭義の能と狂言が入り組んで能を構成するという仕組みは、長い歴史を経て出来たのですが、その源は、遠く奈良時代までさかのぼります。(未了、まとめ大日方)

ニコニコボックスの歴史

ニコニコボックスの創始者は、東京RCの元会員関 幸重氏である。1936年9月30日の例会で、同氏が社会事業委員として孤児300名を玉川園に招くについて協力を求めたとき、ニコニコ箱と称して、会員の喜捨を集める箱を持ち廻ったのがその始めである。箱には有りあわせの紙箱を使用した。

ニコニコ箱を発案した関氏は、以後、例会の際に、誕生日の会員の前で祝辞を述べ、ニコニコ箱を出して喜捨を求めた。会員は関氏の差し出す箱に当時としては高額な10円を投入したという。しかし、欠席者もあり箱の中味は中々増えなかったが、1938年12月に初めて中味を調べたら600円は入っていたという。紙のニコニコ箱は、やがて関氏の考案で、ニコニコを象徴する恵比寿の顔を彫った特製の木の箱になり、それが東京RCに残っている。

関氏のニコニコ小父さんは1947年10月まで続いたが、同氏の病気により今村信吉氏に引き継がれた。そして誕生日だけでなく、会社の増資、社屋の新築落成、接収建物の返還、初孫の誕生、子女の成婚、金婚、銀婚、還暦、喜寿、古稀などの慶事にも喜捨が行われるようになった。

1954-55年に東京RCの会長に就任した東ヶ崎潔氏は、ニコニコ箱の効果を重視してその活動を奨励し、会員の失言、規則違反、ゴルフ競技の入賞その他、あらゆる機会を促えて喜捨を推め、ニコニコ箱の中味は、毎月増加していった。また、ニコニコ箱の名称が他のRCでも広く使われるようになり、今日のニコニコボックスになったのである。

(東京RCのクラブ会報1989. Aug. 16, Aug. 23より)

◎火曜会

9月度「火曜会」9月5日17:30~18:30、於マエストロ  
出席者10名

佐藤(定)、川鍋、四分一、渡邊、赤松、吉田、宮本、  
河原、馬場、入沢の各会員。

◇他クラブ例会変更

東京南RC 9月28日(木)夜間例会18:00~

東京成城新RC 9月28日(木)夜間例会18:00~

◎次週予定 1989年9月29日(金)(第148回)

卓話予定 一青少年月間に因んで一

レティシア・ヨシカワ・タカオカさん  
青少年交換留学生(ブラジルより来日)

受付会計/竹島・永井 来客紹介/保科

ソングリーダー/山田 ニコニコボックス/山川

各担当の会員の方は、11時50分迄にご出席願います。

東京新南ロータリークラブ 会長=佐藤 定宏 副会長=川鍋 達朗 幹事=馬場 一廣 会報=大日方 真  
事務所 〒107 東京都港区赤坂2-22-19 南部坂アネックス201号 TEL. 03-505-5976 FAX. 03-505-6004  
例会日 金曜日 12時30分 例会場 東京全日空ホテル 〒107 東京都港区赤坂1-12-33 TEL. 03-505-1111